



駿東伊豆消防組合

# 議会だより

NO.18 令和3年9月発行



## 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた特殊災害対応訓練

### 目次

- 8月定例会の概要……………P2
- 一般質問……………P3・4
- 議長・監査委員あいさつ……………P4
- 議員紹介……………P5
- 令和2年度決算審査報告……………P6
- 熱海市土砂災害活動報告 ……P7・8

駿東伊豆消防組合 構成市町

沼津市 ・ 伊東市 ・ 伊豆市 ・ 伊豆の国市 ・ 東伊豆町 ・ 函南町 ・ 清水町

地域住民の皆様の安全・安心を守ります。

# 駿東伊豆消防組合議会 定例会が開催されました。

令和3年第2回駿東伊豆消防組合議会定例会議事日程

令和3年8月16日（月曜日）午後3時00分 開会



- 第 1 議席の指定
- 第 2 会議録署名議員の指名
- 第 3 諸般の報告
- 第 4 議長の選挙
- 第 5 会期の決定
- 第 6 報第 2号 繰越明許費繰越計算書の報告について
- 第 7 認第 1号 令和2年度駿東伊豆消防組合会計歳入歳出決算の認定について
- 第 8 議第 5号 駿東伊豆消防組合管理者等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について
- 第 9 議第 6号 令和3年度駿東伊豆消防組合会計補正予算（第1回）について
- 第10 認第 2号 監査委員の選任について（組合議員）
- 第11 消防行政に対する一般質問
- 第12 議会運営委員会の閉会中の継続調査

## < 議案一覧 >

### < 駿東伊豆消防組合管理者提出議案 >

| 議案名   | 内 容  | 議決結果 |
|---|--|------|
| 報第2号<br>繰越明許費繰越計算書の報告<br>について                         | 本案は、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、令和2年度駿東伊豆消防組合会計繰越明許費繰越計算書を報告するものです。                             | 報告   |
| 認第1号<br>令和2年度駿東伊豆消防組合<br>会計歳入歳出決算の認定につ<br>いて          | 本案は、地方自治法第233条第3項の規定により、令和2年度駿東伊豆消防組合会計歳入歳出決算を、監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものです。                   | 認定   |
| 議第5号<br>駿東伊豆消防組合管理者等の<br>損害賠償責任の一部免責に関<br>する条例の制定について | 本案は、令和2年4月の地方自治法の改正により、管理者をはじめとする組合の全ての職員の組合に対する損害賠償責任について、一部を免責とすることに関し、必要な事項や基準を定めるものです。 | 可決   |
| 議第6号<br>令和3年度駿東伊豆消防組合<br>会計補正予算（第1回）につ<br>いて          | 本案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億5,942万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ61億7,109万9,000円とするものです。         | 可決   |
| 認第2号<br>監査委員の選任について（組<br>合議員）                         | 本案は、新たに組合議員から監査委員を選任することについて同意を求めるものです。  | 同意   |

第二回定例会では、1人の組合議員から質問がありました。

杉村 清 議員

・消防職員のワクチン接種状況について

・消防団員の減少に伴う駿東伊豆消防本部の災害対応について

杉村 清 議員

消防職員のワクチン接種状況について

**問** 当組合職員の1回目及び2回目の接種率について、また、接種会場及び接種日についても併せて伺う。

**答** 総務課長 接種対象職員616人のうち、接種した職員は601人で、97.6%であります。

接種会場は、沼津市は「キラメツセめまづ」、清水町は「地域交流センター」、函南町は「順天堂大学医学部附属静岡病院」、伊豆の国市は「公益財団法人伊豆保健医療センター」、伊豆市は「生きいきプラザ」、伊東市は「佐藤病院」、東伊豆町は「康心会伊豆東部病院」であります。

接種日は、1回目は4月19日から5月17日、2回目は5月11日から6月10日までの間に実施いたしました。

**問** 接種後の職員の副反応の状況と対応について伺う。

**答** 総務課長 副反応の状況と対応につきましては、1回目、2回目ともに、接種後3日間の状況となりますが、1回目接種後の副反応は、腕の痛みが518人で86.2%、倦怠感が42人で7.0%、発熱が10人で1.7%、その他、頭痛・関節痛などの症状があった者が28人で4.7%でした。

また、これらの症状があり、出勤が困難な者には特別休暇の適応となりますが、1回目接種後に取得した者はありませんでした。

2回目接種後の副反応は、腕の痛みが439人で73.0%、倦怠感294人で48.9%、発熱が214人で35.6%、その他、頭痛・関節痛などの症状があった者が205人で34.1%でした。

また、これらの症状により特別休暇を取得した者は74人で12.3%でした。

**問** 接種していない職員がいたら、その対応を伺う。

**答** 総務課長 接種していない職員は15人で、2.4%でした。

その対応については、ワクチン接種は、各職員のかかりつけ医の判断や、本人の体質等によるものであり、強制できるものではないことから、個人の判断に委ねております。

**問** 救急救命士による住民へのワクチン接種について伺う。

**答** 救急課長 静岡県から、現状、救急救命士がワクチン接種業務に従事することは考えていないと回答を得ています。



## 消防団員の減少に伴う駿東伊豆消防本部の災害対応について

**問** 消防団員が少ないことで、災害現場での不具合や苦慮したことがあるか伺う。

**答** 警防課長 本消防本部の発足以来、火災や自然災害等において、消防団と連携した活動を実施してきましたので、特に不具合や苦慮したことはありません。

**問** 消防団員の減少が、今後、消防活動にとって危惧されることがあれば伺う。

**答** 警防課長 災害発生時、地域の消防防災活動の要となる消防団員の減少は、本消防本部と消防団との連携において、大規模災害をはじめとする各種災害対応を円滑に進めるうえで、困難な状況が生じることなどが考えられます。

**問** 今後、駿東伊豆消防本部の対応力を上回る災害発生時における消防団員の必要性や重要性について、消防本部としてどのように考えているか伺う。

**答** 警防課長 南海トラフ地震や大規模な自然災害等が発生した場合、本消防本部は、火災、救助に重点を置いた人命優先の活動となります。

そのため、消防団には、住民の避難誘導、安否確認や行方不明者の捜索など、多様な役割を担っていただくことから、消防団員のマンパワーが必要不可欠であると認識しています。

消防団と更なる連携強化を図ってまいります。



## 駿東伊豆消防組合議会議長

植松 恭一

ただいま同僚、諸先輩の方々の推薦で議長に当選することができました。植松恭一でございます。

議長を務めさせていただくのは今回で2回目になります。前回の時と違い、コロナ禍であり内憂外患が多いときでもあります。身を引き締め、務めさせていただきたいと思っております。

浅学非才な身ではございますが、皆様方の御指導、御鞭撻、御協力をいただきまして、なんとか務め上げたいと考えております。どうかよろしくお願いいたします。

## 新議長 就任あいさつ



植松 議長

## 監査委員

天野佐代里

ただいま皆様方の御同意をいただきまして、監査委員に就任させていただきました。天野佐代里でございます。

月々洞代表監査委員に御指導いただきながら、誠実に務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

## 新監査委員 就任あいさつ



天野 監査委員



# 新選出議員を紹介します！

このたび、新たに沼津市、伊豆の国市、東伊豆町、函南町及び清水町から12人の組合議員が選出されました。



沼津市  
植松恭一 議員



沼津市  
長田吉信 議員



沼津市  
深田 昇 議員



沼津市  
井原三千雄 議員



沼津市  
浅田美重子 議員



伊豆の国市  
天野佐代里 議員



伊豆の国市  
森下 茂 議員



東伊豆町  
内山慎一 議員



東伊豆町  
須佐 衛 議員



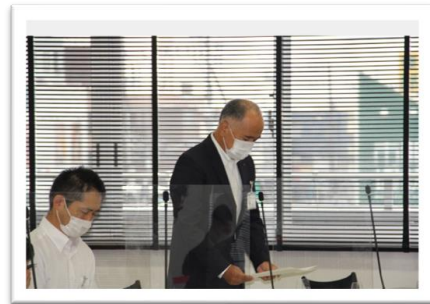
函南町  
杉村 清 議員



函南町  
岩城 仁 議員



清水町  
佐野俊光 議員



新たに選出された議会運営委員会 長田委員長

## 新議会構成

| 議席番号 | 議員氏名  | 選出市町  | 役職       |
|------|-------|-------|----------|
| 1番   | 重岡 秀子 | 伊東市   |          |
| 2番   | 森下 茂  | 伊豆の国市 | 議会運営委員   |
| 3番   | 岩城 仁  | 函南町   |          |
| 4番   | 秋山 治美 | 清水町   | 議会運営副委員長 |
| 5番   | 須佐 衛  | 東伊豆町  |          |
| 6番   | 浅田 藤二 | 伊豆市   |          |
| 7番   | 浅田美重子 | 沼津市   |          |
| 8番   | 井原三千雄 | 沼津市   |          |
| 9番   | 大川 勝弘 | 伊東市   | 議会運営委員   |

| 議席番号 | 議員氏名  | 選出市町  | 役職      |
|------|-------|-------|---------|
| 10番  | 宮崎 雅薫 | 伊東市   | 副議長     |
| 11番  | 天野佐代里 | 伊豆の国市 | 監査委員    |
| 12番  | 杉村 清  | 函南町   | 議会運営委員  |
| 13番  | 佐野 俊光 | 清水町   |         |
| 14番  | 内山 慎一 | 東伊豆町  | 議会運営委員  |
| 15番  | 永岡 康司 | 伊豆市   | 議会運営委員  |
| 16番  | 深田 昇  | 沼津市   |         |
| 17番  | 長田 吉信 | 沼津市   | 議会運営委員長 |
| 18番  | 植松 恭一 | 沼津市   | 議長      |

# 令和2年度決算審査報告



報告中の森下議員

## 令和2年度決算審査報告

令和2年度の当初予算額は、6,208,556千円で、これに補正予算額56,038千円を加えた最終予算額6,264,594千円となっており、前年度に比べ63,699千円減少している。

**歳入**決算額は、6,255,479千円で、前年度に比べ58,873千円減少している。

収入率は、予算現額に対して99.9%、調定額に対して100%と、前年度同様の水準で、不納欠損額及び収入未済額のない良好な状態である。

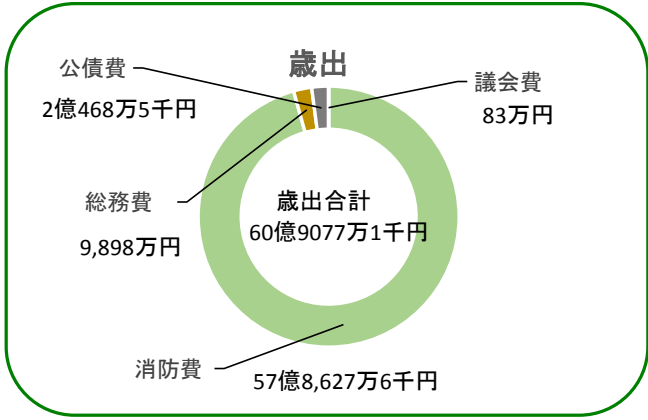
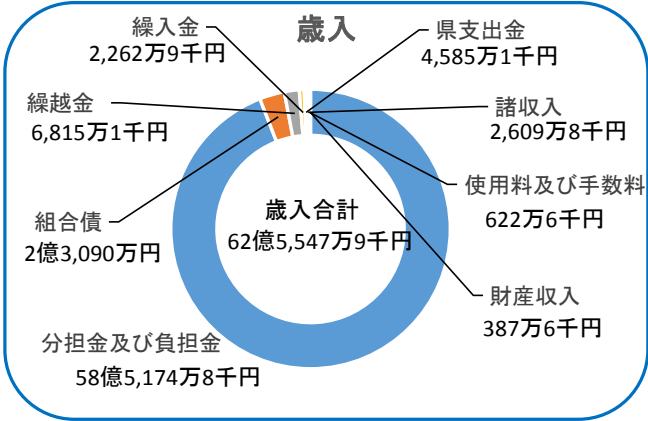
**歳出**決算額は、6,090,771千円で、前年度に比べ155,430千円減少している。

執行率は97.2%で、前年度に比べ1.5ポイント低下している。

翌年度繰越額は1,114千円で、これはコロナ対策経費を繰越したものである。

不用額は172,709千円(対予算比2.8%)で、前年度に比べ90,617千円増加している。不用額の主なものは、職員管理費137,636千円(対予算比2.2%)及び消防運営費14,890千円(対予算比0.2%)である。

## 款別決算額



## 予算執行状況

前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位: 千円・%)

| 区分  |          | 令和2年度     | 令和元年度     | 増減       | 増減率    |
|-----|----------|-----------|-----------|----------|--------|
| 予算額 | 当初       | 6,208,556 | 6,198,256 | 10,300   | 0.2%   |
|     | 補正       | 56,038    | 130,037   | -73,999  | -56.9% |
|     | 繰越事業費繰越額 | 0         | 0         | 0        | —      |
|     | 最終       | 6,264,594 | 6,328,293 | -63,699  | -1.0%  |
| 歳入  | 調定額      | 6,255,479 | 6,314,352 | -58,873  | -0.9%  |
|     | 決算額      | 6,255,479 | 6,314,352 | -58,873  | -0.9%  |
|     | 対予算現額収入率 | 99.9%     | 99.8%     | —        | 0.1pt  |
|     | 対調定額収入率  | 100.0%    | 100.0%    | —        | 0pt    |
|     | 不納欠損額    | 0         | 0         | 0        | —      |
|     | 収入未済額    | 0         | 0         | 0        | —      |
| 歳出  | 決算額      | 6,090,771 | 6,246,201 | -155,430 | -2.5%  |
|     | 執行率      | 97.2%     | 98.7%     | —        | -1.5pt |
|     | 翌年度繰越額   | 1,114     | 0         | 1,114    | —      |
|     | 不用額      | 172,709   | 82,092    | 90,617   | 110.4% |

## 熱海市土砂災害応援出動の活動報告を行いました。

第2回定例会終了後

7月3日に熱海市伊豆山で発生した土砂災害に、静岡県消防相互応援協定に基づき出動しました。

活動期間：7月3日から8月3日までの32日間

出動部隊：指揮隊・救助隊・救急隊・消火隊・重機隊

延べ142隊 521人



### 「報告写真」



① 逢初川の状況



② 静岡県隊 活動方針





③ 重機による活動



④ コンパネを敷き足場を確保しての活動



⑤ 人海戦術による活動



⑥ 検索棒を使用した検索活動



⑦ 新幹線の線路脇の搜索活動



⑧ 熱海市長の謝辞及び静岡県隊解散式